

議 長	局 長	次 長	係 長	係 長	課 員	担 当

第 29 回議会改革推進会議 会議記録簿

開 催 日	平成 28 年 3 月 16 日 (水)	場 所	特別会議室
開催時間	午後 2 時 37 分～午後 3 時 31 分	休憩時間	時 分～ 時 分
			時 分～ 時 分
出席委員	全 員 ・ 欠 席 名 (委員、 委員、 委員)		
その他 出席者		事務局 出席者	澤口道夫事務局長、嗟峨一郎次長、 皆川賢司係長、長内紳悟主任

(適用・要旨)

進行：座長 中平浩志議長

○協議案件

(1) 先進地視察の成果と今後の取り組み方について

- ・合同研修を踏まえ、今後かだって会議等に取り組んでいく前提またそれ以前に、昨年開催した議会報告会での市民意見を受けての各常任委員会の調査活動等が不十分である。議会報告会がやりっ放し、形骸化してしまわないよう、議会報告会以後の議会活動に継続的に取り組んでいく必要がある。(濱欠明宏委員)

- ・議会報告会以後の取り組み方については、書類手続き的に常任委員会所管ごとに市民意見の整理・振り分けを行っているものではなく、議員全員協議会において意見整理の全体共有を図った時点で事実上の常任委員会へのバトンタッチとしていることから、今後、各常任委員会では休会中の調査活動等を積極的に行っていくこととする。

- ・市民意見を受けて各常任委員会が自主的な調査活動をスタートさせた場合、もしかすると同一の市民意見についてそれぞれ違った観点から二つの常任委員会で調査活動を行っていたり、または、ある特定の意見についてはどこの常任委員会でもトピックに取り上げることなく活動に至っていないことも考えられる。各常任委員会の活動状況について議長は全体把握しながら指導・助言、コーディネートしていく必要がある。(濱欠明宏委員)

- ・今後、議長を通じて各常任委員長に指導・助言しながら、市民意見をしっかり踏まえた調査活動等に取り組むよう促していくこととする。なお、次回議会報告会において活動報告ができるよう、常任委員会活動の取り組み状況・内容については、議員全員協議会を通じて全体共有しながら調査活動を進めていくこととする。

・袖ヶ浦市での合同研修会を踏まえ、18歳選挙権引下げを見据えた高校生かだつて会議（あるいは高校生議会）について本年5月開催を目途に検討・準備を進めていくこととする。

(2) 平成27年度活動目標・計画について

【議員定数の適正化】

・議員定数の検討進め方については、3/22（火）佐藤先生と正副議長との打ち合わせを踏まえたうえで協議していくこととする。

・本日の議員定数に関する基礎資料について、これら客観的数値を全体認識のものとし、今後本格的な協議に移っていくこととする。なお、基礎資料については全議員配布とする。

・基礎資料の各数値から平均値をとった場合、議員定数は何人となるか。（濱欠明宏委員）
⇒人口・面積・財政力の各数値を比較考慮すると、岩手県内14市平均で20～22人、類似団体14市平均で18～20人となる。全体平均で18～22人ということになる。（事務局 長内）

【政策的議員提案条例の制定】

・会派持ち寄りによる乾杯条例案（新政会案）、地産地消条例案（日本共産党久慈市議団案）については、条例目的・理念が共通する部分があるため、統合案を視野に入れ検討を進める。なお、議会側でも率先して地酒乾杯など推進活動（互助会費支弁）に取り組みながら、条例制定機運を高めていくこととする。また、6月定例会議への条例案上程が可能かどうか議会改革推進会議において早めの検討を進めることとする。

【総括】

・本日の協議を踏まえ、議会活動チェックシートについて事務局調製案のとおり決定する。